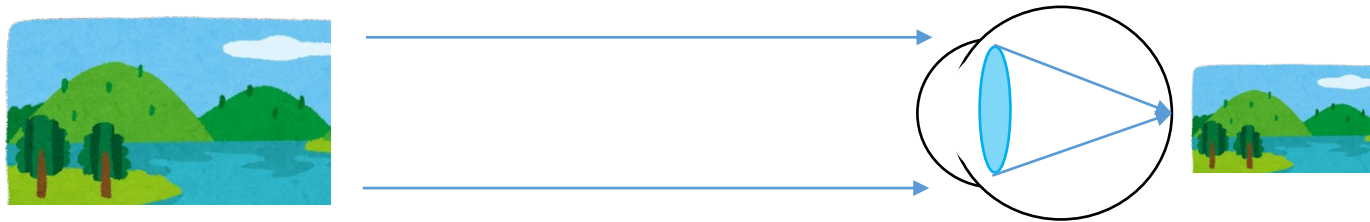


Q1. 屈折異常ってなに？

眼に入った光は角膜や水晶体により屈折して網膜に像が結ばれますが、網膜上にピントの合った鮮明な像が結ばれない状態を「屈折異常」といいます。屈折異常には正視・遠視・近視・乱視があります。

1) 正視ってなに？

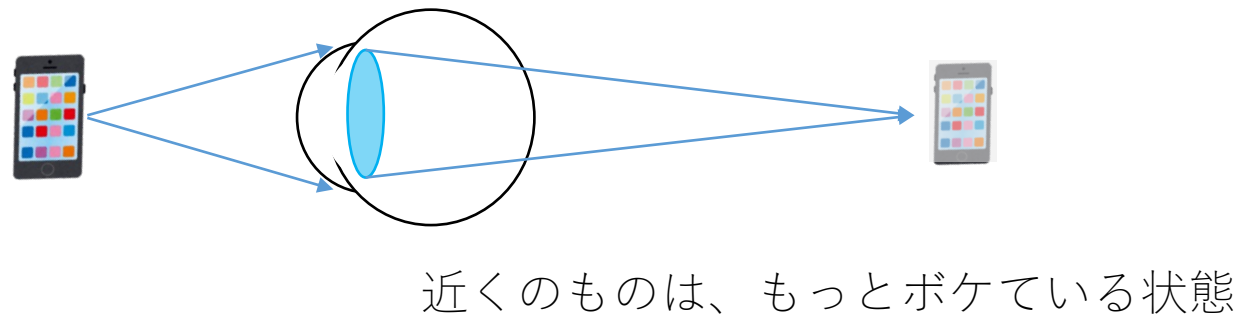
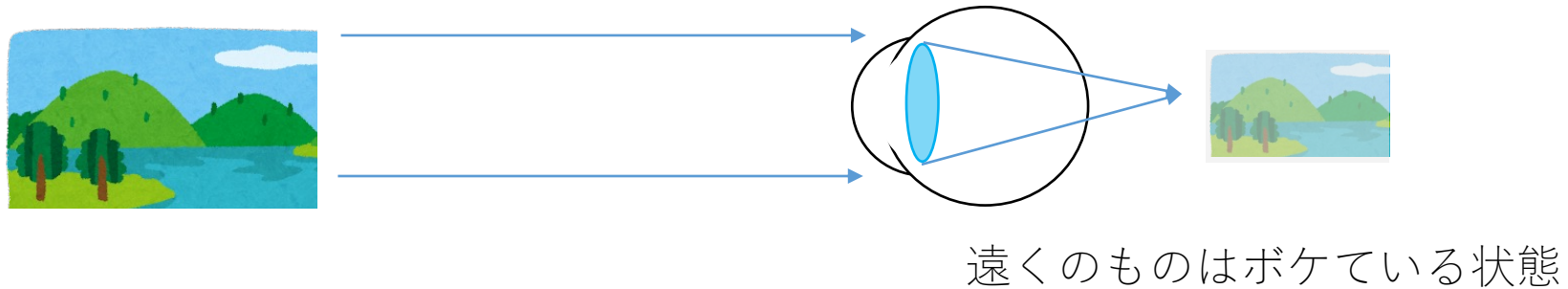
ものを見るときに網膜にきちんと焦点が合うと、ものがくっきり見えますが、焦点が網膜から外れるとぼやけて見えます。焦点をうまく合わせるために眼は調節力（ピント合わせの力）を働かせます。調節力を働かせない状態で、遠方からきた光（平行光線）が網膜にちょうど焦点が合う眼を正視といいます。



遠くのものがかくっきり見えている状態

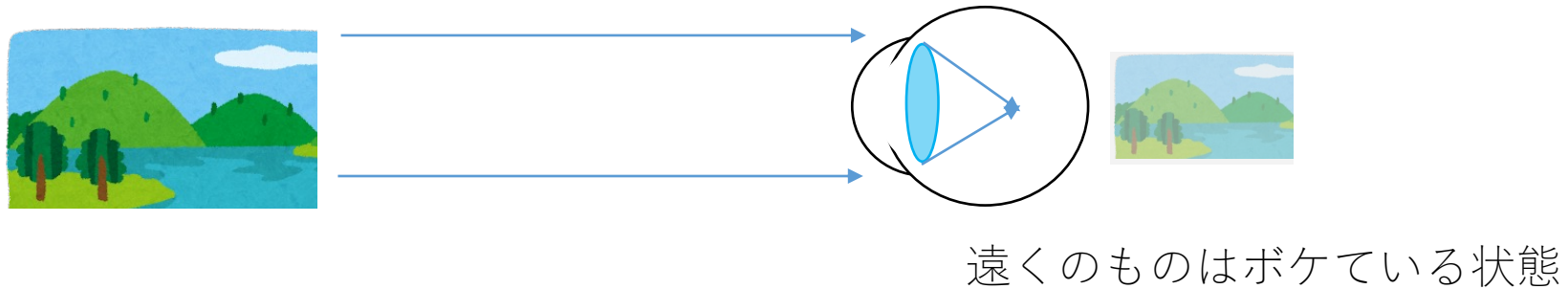
2) 遠視ってなに？

遠方からの平行光線が網膜より後ろに焦点を結んでしまう状態です。調節力を働かせないと遠くのものも近くのものも網膜に焦点が合っていないのでぼやけて見えます。軽度の遠視であれば、小児は調節力を働かせて遠くも近くのものも焦点を網膜に合わせることができますが、**強度の遠視では遠くも近くのものも焦点が合わないため弱視の原因となります。**



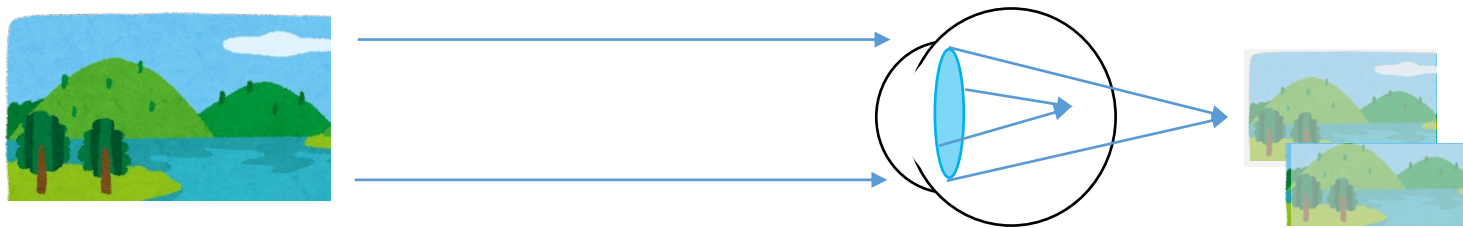
3) 近視ってなに？

遠方からの平行光線が網膜の手前で焦点を結んでしまう状態です。近くのものを見るときにはピントが合いますが、遠くのものにはピントが合わずぼやけて見えるようになります。近視が強い場合は、ものに近づいて見るようになります。



4) 乱視ってなに？

焦点が1箇所には集まらず、ものがぼやけて見える状態です。
また、ものが二重に見えることもあります。多くの乱視（正乱視）は眼鏡で矯正できます。角膜の病気などが原因でおこった乱視（不正乱視）は眼鏡やコンタクトレンズを使用しても十分に矯正することが困難な場合があります。



遠くも近くもボケている状態